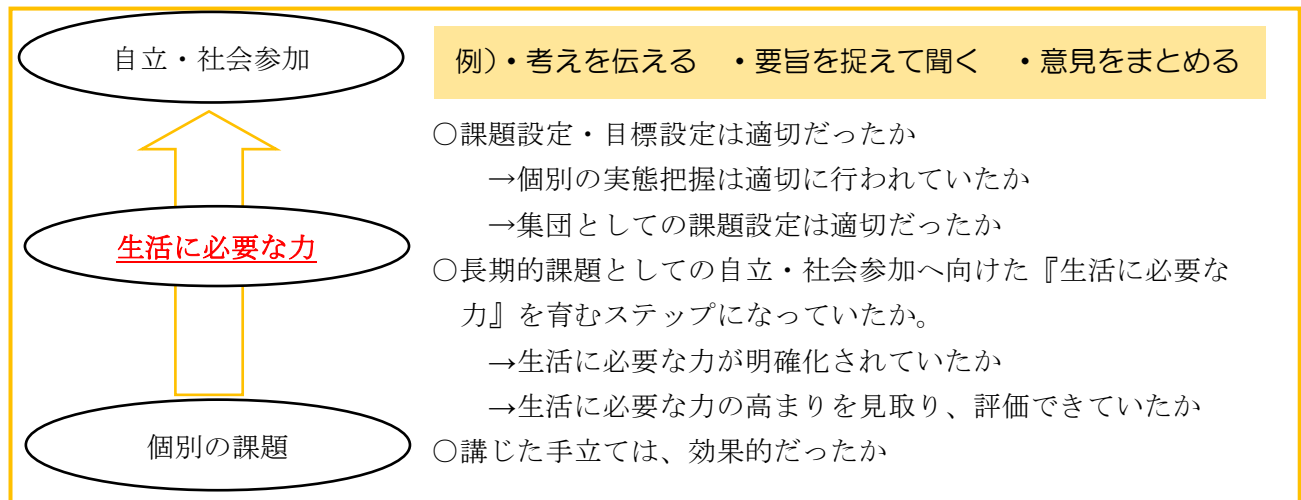


④特別支援部会「仮説①について」

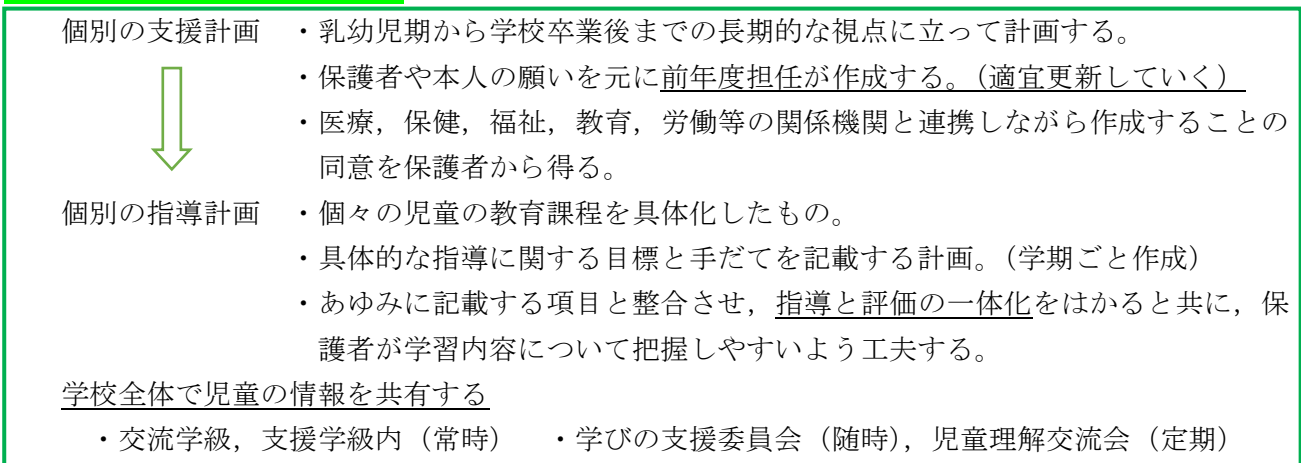
仮説1

児童の教育的ニーズを把握し、**実態に応じた課題設定**や適切な支援をすることで意欲的に学習に取り組み、生活に必要な力が高まるだろう。

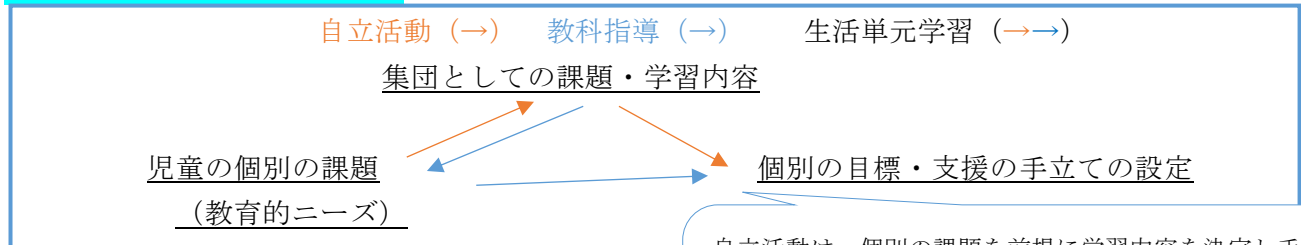
<仮説検証の視点>



<児童の教育的ニーズの把握>



<特別支援の課題設定の流れ>



学習内容・授業づくりの基本的工夫

- ・長所を活かした学習内容
 - ・学び合う授業構成
 - ・ルーティン化した活動
 - ・教室環境 → 学習内容の見える化
- 児童が相互に理解し合い、学び合う
学級風土の醸成

自立活動は、個別の課題を前提に学習内容を決定し手立てを講じていく。一方で教科指導・生活単元学習では学習するべき内容をよりよく学べるように個別の手立てを講じていく。

教師の適切な関わり方

- ・話し方【児童の思いや考えに寄り添う】
- ・指示【簡潔・繰り返し・理解の確認】
- ・即時評価【具体的に行動を価値づける】